



北松西高だより



e-mail : hokushounishi-h@news.ed.jp HP : <http://www2.news.ed.jp/section/hokushounishi-h/>

第 8 号 令和 2 年 11 月 30 日

◆12月の行事予定◆

休眠打破！

北松西高校校長 井上潤一郎

10月24日、創立70周年の記念式典をつつがなく終えることができました。コロナ禍の中、島外からの来島を遠慮いただき限られた人数による実施でしたが、島内から多くの来賓においでをいただき、厳粛な中にも温かみのある式を行うことができました。生徒会長の崎元さんの言葉にもあったように「小値賀の未来を担う私たちに何ができるのか見つけ出し行動する」ことを目標に北松西高の新たな出発の機会としてもらえると嬉しいです。また、翌日行われた西高祭も、ステージ部門中心でしたが、制限がある中で、いや制限があるからこそ、皆さんの知恵や工夫が光る充実した内容になりました。生徒会をはじめとする皆さんの努力に拍手を送りたいと思います。

さて式典に先立つ10月の初旬、本校ではなんと桜が開花しました。今年は夏の暑さや台風等の影響で桜の葉が早くに散ってしまったために、桜の木が休眠に入り、10月の暖かい日を春と勘違いして開花したということのようです。今年は県内各地でこの桜の狂い咲きがみられたようですが、事情はともあれ時ならぬ数輪の花に心が和みました。植物が休眠期間を経て活動状態になることを休眠打破といいますが、桜が開花するには冬の一定期間低温にさらされる必要があるそうです。厳しい寒さを乗り切らないと美しい花を咲かせることができないというのは何か象徴的な気がします。

3年生を筆頭に、目標達成に向けて今立ち向かっている厳しい試練も、やがて皆さんが大きく開花するために必要な冬の寒さなのかもしれません。冬来たりなば春遠からじ。休眠打破して春の満開の笑顔につながるようがんばりましょう。



サクラサク

心の教育講演会（後期）

10月13日（火）に令和2年度の小中高一貫教育の取組として、長崎県学校教育相談学会理事の松永博幸先生を講師にお招きして心の教育講演会を実施しました。「君のゆく道は～『時』は最良の友～」と題した内容で、人生80年間を1日24時間に換算し、中学2年生から高校3年生も生徒が今どの『時』にいるのか、そして何をなすべきなのかについて、わかりやすく教えていただきました。松永先生の講話を通して、子どもたちにとって人生の準備段階にある「今という『時』がどれほど大切なのか」を考えるたいへん良い機会になりました。



日	曜	行事予定
1	火	1・2年・3年β第2学期末考査④ (午後)後期人権学習
2	水	⑦カット6コマ日課
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	赤い羽根共同募金期間～18日
8	火	⑥⑦English Day ※⑤の後掃除
9	水	
10	木	2年県内就職に関する講演会
11	金	⑦・掃除カット 6コマ日課
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	45分短縮授業
17	木	3年卒業レポート発表会(町議場)
18	金	
19	土	1・2年県下一斉実力試験 3年β校内SPI 模試 3年北予備ファイナル模試
20	日	3年北予備ファイナル模試
21	月	胸部レントゲン・心電図(1年・職員14:30～ 15:30)
22	火	商品開発デー⑩
23	水	
24	木	3コマ授業(月⑤～⑦) 終業式・大掃除
25	金	冬季補習(～28日) 保育検定3級13:00～ 15:00
26	土	
27	日	[吹奏楽]アンサンブルコンテスト
28	月	御用納め
29	火	年末年始休暇～1/3
30	水	
31	木	

少年の主張大会

11月7日（土）に開催された少年の主張大会に、北松西高校代表として、松添成喜さん（1年）と博多屋心さん（2年）が出演しました。松添さんは「小値賀が100年先も活気溢れる島であるためにどうすべきか、また、自分には何ができるか」、博多屋さんは「コロナ禍で差別が広がらないようにするために何ができるか、そして、自分自身将来は差別をなくせる医者になりたい」と述べました。



2020させほわくわくコンテスト

2年生有志が「地域課題をSDGsに沿って企業と共に考え、アクションを興し解決に導く」をテーマとした活動に参加しています。現在、大学による講義や県北企業が先進的な取組についてオンラインの講義を受けています。「世界の都市や企業でこんなことをしていたなんて…」

という驚きとともに「小値賀の活性化に活かそうな取組があつてとても勉強になります」という生徒の感想があがっています。



外交官セミナー

在福岡米国領事館・長崎県公立学校法人主催の外交官セミナーが10月14日より計5回行われ、本校より5名がオンラインで参加しています。2年の橋本龍輝さんは「実際に海外の方とやり取りをすることができたので、とても貴重な機会となりました。いろいろな文化や価値観に触れ、受け身になるのではなく、何事にも主体的に動いていかなければならないと思いました。」と話し、セミナーを通して多くの刺激を受けた様子でした。



キャリア教育講演会

11月2日（月）に「アイランド・チャレンジ」事業の一環で、就業に関する講話を聴いて勤労観や職業意識を高めるキャリア教育講演会を実施しました。

今年度は長崎大学経済学部の山口純哉先生をお招きし、「ポストコロナの地域社会と働き方」をテーマにお話をいただきました。山口先生は地域経済の仕組みやコロナ禍による地域経済への影響をわかりやすく説明してくださり、これからの社会に求められる力がどういったものであるかを生徒たちに教えてくださいました。

生徒を代表して3年の神崎耕輔さんが「3年生は12月の卒業レポート発表会に向けて準備を進めている最中なので、今回の先生のお話を参考にして小値賀活性につながる地域経済のあり方をさらに深く考えていきたい」とお礼の言葉を述べました。

